

## 平成 31 年 4 月の予定表

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
	*ポールエクササイズ 13:30~	いきいき百歳体操 10:00~			☆金物類・金物類の粗大ごみ収集日	
7	8	9	10	11	12	13
統一地方選挙		いきいき百歳体操 10:00~	★資源ごみ		自治会長会議	
14	15	16	17	18	19	20
		☆ガラス・陶器・有害ごみ収集日 いきいき百歳体操 10:00~	狂犬病予防集合注射 13:50~14:10	*ポールエクササイズ 13:30~	会館カフェ 12:00~15:00	
21	22	23	24	25	26	27
		いきいき百歳体操 10:00~		歌声喫茶 9:30~12:00		
28	29	30	※会場は会館カフェ以外はあぶりこです。 ※参加費に関しては協議会までお問い合わせください。			
	昭和の日	退位の日				



クイズ② 次の歌のうち、依羅娘(よさみのおとめ)の歌といわれる歌はどれでしょうか。

- イ、<sup>いわみ</sup>石見のや <sup>たかつのやま</sup>高角山の木の <sup>こま</sup>際より わがふる袖を <sup>そで</sup>妹みつらむ
- ロ、<sup>あきやま</sup>秋山に <sup>おち</sup>落つるも <sup>みだ</sup>みじ葉しましくは <sup>あ</sup>な散り乱れそ <sup>きみ</sup>妹があたり見む
- ハ、<sup>おも</sup>な想ひと <sup>あ</sup>君はいえへども <sup>あ</sup>逢はむとき <sup>し</sup>いつと知りてか <sup>あ</sup>吾が恋ひざらむ



- ▼1R 1分34秒
- ▼偉大なる残念な人たち
- ▼昭和のできごと思い出クイズ 500問
- ▼リアルにあたる! ハッピー手相うらない



# あぶりこ

あぶりこは今月号より月末に発行することになりました。

江津高校卒業神楽

都野津町づくり協議会

都野津町 2358-1 ☎0855-53-0453

<https://www.tsunozuaprico.com>

都野津あぶりこ 検索



この度は、「江津高等学校石見神楽愛好会創立10周年記念公演 卒業神楽」に多くの方々にお越しいただきありがとうございました。

私たち神楽愛好会にとってこの「卒業神楽」公演は、最も大事な公演であり、最も大きな公演でもあります。今年は地域の方々のご協力もあって屋台等も出して頂き、さながら「地域のお祭り」のようでした。そんな最高の雰囲気の中、今まで一生懸命練習した成果を多くの人に見てもらえたことは、自分たちにとって最高の喜びです。



特に「岩戸」は、「第8回高校生の神楽甲子園」にて披露する予定でしたが、大会当日台風接近のため急遽出場取りやめとなり、まさに日の目を見る機会を失ってしまっていた演目でした。そこで、「岩戸」を卒業神楽で披露するにあたり、以前のものよりも舞も演出もさらに工夫を凝らして披露させていただきました。舞の最中、多くのご声援や拍手をいただき、また終わった後も「初めて神楽を見て感動した」「迫力があって高校生のレベルとは思えなかった」といった声をかけていただき大変嬉しく思いました。

今回の公演で、見つけた課題を一人ひとりが自身のレベルアップにつなげるように一年間努力し、また地域のみなさまの前で最高の舞を披露できるように頑張りたいと思います。そして、10年という節目の年を迎えた江津高校神楽愛好会は、これからも地域を盛り上げるために日々精進していこうと思っていますので、今後ともよろしくお願いたします。

この度は本当にありがとうございました。

江津高等学校石見神楽愛好会

代表 湯浅 紳矢



### ～江津高校の卒業式で語られた佐々木準三郎～

私は、去る3月2日に行われた江津高校の卒業式に参列しました。その際、宮島校長が式辞において卒業する生徒に贈る言葉として、佐々木準三郎について語りかけられたことに非常に感銘を受けました。「あぷりこ」の紙面を借りて皆さんに紹介します。

(佐々木会長記)



昨年十月に挙行いたしました江津高校創立六十周年記念式典で、初代の目次校長が恩師である仏教思想家の山本空外先生を創立一周年記念講演会に招き、空外先生の教えを江津高校の生徒指導の根本信条とした、と紹介しました。



「人もいろいろな事をなすが成功したからといって自分一人の手柄と思っ  
てはいけない。すべて仁風、すなわち大自然の力、多くの人々、親兄弟はじめ  
自分を取りまくすべてのもののおかげであることを自覚して人生を生きぬく」  
そのような人物を育てるべく、創立から三年目を迎えた春、空外先生の教えを  
反映した江津高校最初の教育方針が掲げられました。

この自己と他者とがお互いを活かし合って生きる「無二的人間」そのものと思われる人物に、佐々木準三郎という明治二十二年（1889年）生まれの都野津の実業家がありました。ここからほど近い津宮小学校の正門前に彼の業績をたたえる頌徳碑（石碑）が建っていることからわかるように、小学校と深い関わりがあります。

昭和三年（1928年）に旧都野津小学校を移転増築する計画が立てられましたが、翌四年の世界恐慌のあおりを受けて小学校建設反対運動が燃え上がり、都野津町長の辞職にまで発展したときのことで、氏が「次の時代を担う若者の教育がおろそかになってはならない」という信念から工事費の約半分にあたる資金を寄付したことで、完成をみる事ができました。

この校舎こそ、江津高校創立の二年目から臨時校舎として約十四年間使用された木造の旧校舎に他なりません。

氏の寄付は、この旧都野津小学校にとどまらず、現在の貨幣価値百万円以上の寄付だけでも生涯に七十件、旧都野津小学校建設への寄付三十回分に相当する額になります。自宅の金庫を空にしてでも世の中のために寄付を惜しまなかった佐々木準三郎が、旧都野津小学校校舎を介して江津高校とつながります。

佐々木準三郎の豪傑ぶりは伝記をはじめ、世間に知られていることから耳にしたこと  
もあると思います。小学校を卒業する満十三歳のころ、浜田に本を買いに行こうとした  
ところ、父親に「漁師の息子が本など買わなくてもよい」と否定されたことに奮起し、  
「横浜に行く」と書き置きしたまま家を出ました。日本を出国してアメリカに渡るつも  
りだったようです。

次ページへ続く

慌てた親が都野津に戻ることと引き替えに買って与えたわずか二十トンの船で、少年は航海技術と会計事務を身につけ、北陸から北海道、さらには朝鮮半島まで物資を運んで財をなしました。氏は、日本海を股にかけた事業で成功を収めながらも人助けを忘れず、太平洋戦争末期、生きて還る望みのないことを承知で東南アジアに船を出し、フィリピンで客死しています。

これから全国に散らばってゆく卒業生のみなさん、あなたの出身校はどのような高校ですか、と問われたら、ノブレス・オブリージュを体現し、代表的日本人として名を連ねるに相応しい篤志家、佐々木準三郎の生まれ故郷にあって、仏教思想家山本空外の教えを教育方針にいただく高校である、と胸を張って答えてください。みなさんの今後の活躍を、空外先生と準三郎さんが見守ってくださることを祈念して式辞といたします。

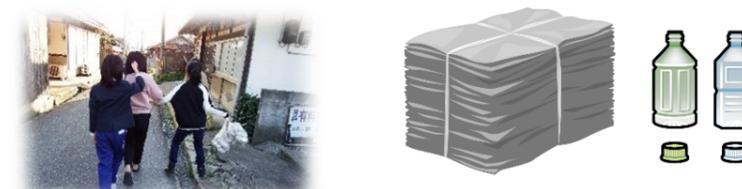
〈 抜粋 〉



### あぷりこママクラブ☆訪問活動

2月26日(火)久々にお天気も良く、午前中授業で午後からあぷりこに遊びに来ていた5年生達と一緒に声掛け訪問をしました。資源ゴミが溜まっているお宅からは、缶やペットボトル等を回収して帰りました。子ども達もまだまだ寒い中、元気に「こんにちは～！」と挨拶していました。

参加してくれた子供達の感想です



♡これからも地域の活動に取り組んでいきたいと思ひます。  
♡地域の活動に今まではあまり取り組んでいなかったけれど、取り組めて良かったです。これからも機会があればまた参加したいです。  
♡地域のためになる活動ができてよかったです。



今後も不定期ですが子ども達と訪問活動を続けていきます♪何かお困りごと等ありましたら、あぷりこまでお電話ください。